

平成 31 年度使用小学校用教科用図書（「特別の教科 道徳」を除く）
の採択結果等について

採択地区名 安芸高田市教育委員会

種 目	発行者	採 択 理 由
国 語	光 村	<p>「てびき」では、学習の視点と発表例を示し、「たいせつ」で身につけたい力を示している。</p> <p>各領域の学習を組み合わせ、総合単元を配列し、読んだことを生かして、書いたり話したりする単元構成の工夫がある。説明文では、写真や図表、グラフなど様々な資料を使用している。単元後に振り返りポイントとチェック欄を設け学習の振り返りができるようにしている。</p> <p>以上の点が、光村図書の特筆すべき事項であり、指導の在り方、本市の児童の実態等の観点から、本採択地区で使用する教科用図書として適当であると考える。</p>
書 写	光 村	<p>各単元の冒頭で「筆使いを確かめよう」等、単元の目標を示し、続いて「～に気をつけて～しよう。」と、具体的な観点を示している。</p> <p>国語教科書と連動して一体的に扱える教材を2学年以上に1つつ設定している。</p> <p>筆使いについてイラストを用いて穂先の動きや筆圧を示しており、筆の運びが分かりやすい。</p> <p>学習したことを日常生活に生かせるように「しりょう」コーナーを設けて、はがき・手紙・新聞などの書き方についてポイントを示している。</p> <p>以上の点が、光村図書の特筆すべき事項であり、指導の在り方、本市の児童の実態等の観点から、本採択地区で使用する教科用図書として適当であると考える。</p>
社 会	日 文	<p>巻頭に「この教科書のしくみ」コーナーを設けている。「学び方・調べ方」コーナーを学習場面に合わせて配列し、学習技能を身に付けさせるとともに問題解決的な学習を進めることができるようにしている。</p> <p>学習内容・方法を見開きごとに写真などで具体的な社会事象を提示し、タイトル左横に「どんな～だろう」「～理由は何だろう」等の問いかけで問題を提示している。</p> <p>また、単元末に設定した「ふりかえってみよう」では、学んだことを表現物にまとめ、話し合うことで、児童一人一人の見方考え方がより明確になるようにしている。</p> <p>以上の点が、日本文教出版の特筆すべき事項であり、指導の在り方、本市の児童の実態等から、本採択地区で使用する教科用図書として適当であると考える。</p>
地 図	帝 国	<p>「地図帳の使い方」で、索引の使い方や調べ方を説明し、地名の調べ方を例示している。「地図のなりたちと約束ごと」では、「地図の約束ごとを知ろう」として、方位土地の高さ、縮尺等について説明している。</p> <p>世界の各地方図の「世界一周写真館」で、各地域の特徴的な生活や行事等を写真で紹介している。各地方図で広島市の原爆被害状況、神戸市付近の災害への備え等、各地域の特徴的な内容を紹介している。また、規格を教科書サイズとしている。日本列島や地方図では、隣接地域の地図が何ページにあるかを記号で表示し、隣の地図とのつながりを示している。</p> <p>以上の点が、帝国書院の特筆すべき事項であり、指導の在り方、本市の児童の実態等から、本採択地区で使用する教科用図書として適当であると考える。</p>
算 数	東 書	<p>単元の導入で、単元全体に関わる焦点化した問題を提示し、少ない課題でじっくり考えさせるようにしている。また、単元間に「おぼえているかな？」を設け、既習事項を確認するページが用意されている。練習問題が適量で、理解の定着をしっかりと行うことができる工夫がされている。</p> <p>全体の色使い、文字の大きさ・太さ、色等に工夫がされている。特に図や数直線の線が若干太く強調されており、大事な式や考え方、問題を枠で囲み、分かりやすいレイアウトの工夫がされている。</p> <p>以上の点が、東京書籍の特筆すべき事項であり、指導の在り方、本市の児童の実態等から、本採択地区で使用する教科用図書として適当であると考える。</p>

種 目	発行者	採 択 理 由
理 科	啓 林	<p>単元末の「まとめよう」では絵や写真を使用してのまとめ方が例示され、「たしかめよう」や「力だめし」で、学習の定着を図るとともに活用する力を育てる工夫がなされている。また、別冊「わくわく理科プラス」により、見通しをもち、基礎的・基本的な学習事項の習得を図ることやまとめができるよう工夫されている。</p> <p>「学習の進め方」では、学習の進め方を示し、どの単元も問題解決の過程に沿ってわかりやすく構成している。単元内にノートや記録カードの例があり、言語活動の充実が図られている。</p> <p>以上の点が、啓林館の特筆すべき事項であり、指導の在り方、本市の児童の実態等から、本採択地区で使用する教科用図書として適当であると考え。</p>
生 活	教 出	<p>「自分のすてきをさがそう」で、「〇〇さんすてきだね」カードを使って、友達のいいところを伝え合う学習活動を設定している。また、上巻末・下巻末とも「ぐんぐんポケット」があり、交通安全、防災、道具の安全な使い方などを掲載している。</p> <p>右スペースに、学習のヒントを示す「はっけんひんと」、家庭連携を促す「おうちでちゃれんじ」、自己評価欄「ふりかえる」及び活動上の注意点を示しており、発展的な学習にも適切である。</p> <p>以上の点が、教育出版の特筆すべき事項であり、指導の在り方、本市の児童の実態等から、本採択地区で使用する教科用図書として適当であると考え。</p>
音 楽	教 芸	<p>題材の目標が目次とともに題材のトップページの左側に大きく目立つように示している。また、各教材の学習目標がそれぞれのページの上部に大きく示してある。そのことで指導者や児童が見通しをもって学習に取り組めるようになっている。</p> <p>前学年との系統性が見られる。言葉から音楽づくりをしている。音楽づくりで、何を考えて、どのように言葉にするかを、明確に理解できるよう、子どもたちの発言を例示している。音楽づくりの題材が多く扱われている。低・中・高学年と2学年ずつ系統的な題材構成となっており、前学年の学びが次の学年の学びにつながるよう工夫されている。</p> <p>以上の点が、教育芸術社の特筆すべき事項であり、指導の在り方、本市の児童の実態等から、本採択地区で使用する教科用図書として適当であると考え。</p>
図画工作	日 文	<p>各題材の目標を、5種類の色分け（造形遊びをする活動、絵に表す活動、立体に表す活動、工作に表す活動、かん賞する活動）と文章で示している。学習活動に関するポイント（「形や色のチーロさん」「きをつけよう」「かたづけ」「学習の後で」など）をマークと単文で表し、授業で使うおもな用具もマークで表している。</p> <p>学習のめあてが4つ示されており、言語活動につながるめあてを示している。言語活動につながる鑑賞の目標や鑑賞の具体的な方法、鑑賞の視点を吹き出しや児童の言葉で示している。</p> <p>以上の点が、日本文教出版の特筆すべき事項であり、指導の在り方、本市の児童の実態等から、本採択地区で使用する教科用図書として適当であると考え。</p>
家 庭	東 書	<p>身につけさせたい知識や技能のポイントを「いつも確かめよう」「これだけではできるようになるう」の囲みでわかりやすく示している。</p> <p>学習の流れが、3ステップ【①みつめよう ②計画しよう・活動しよう ③生活に生かそう・新しい課題を見つけよう】で構成されている。</p> <p>また、課題を見つけ、調べて話し合い、まとめて発表するなどの言語活動の充実を図り、ワークシートや計画カードのまとめ方の例が示されており、書く活動の工夫が図られている。</p> <p>以上の点が、東京書籍の特筆すべき事項であり、指導の在り方、本市の児童の実態等から、本採択地区で使用する教科用図書として適当であると考え。</p>
保 健	東 書	<p>毎時間ごとの学習課題が各項の最初に児童にわかりやすい言葉で掲載されている。また、思考や振り返り、活用等が教科書に提示されており、基礎・基本の定着を図れる構成となっている。</p> <p>学習活動をふり返り・話し合い・個人思考・集団思考・活用とすることで児童の実践力を育成するための工夫がなされている。</p> <p>自分の考えを「選択」したり「理由」を書いたりする欄が設けてあり、教科書で1時間の学習が振り返られるようになっている。また、「話し合ってみよう」等で、児童の言語活動を適切に促している。自分の考えを書く活動や話し</p>

		<p>合う活動の言語に関する能力を向上させる活動が充実している。</p> <p>以上の点が、東京書籍の特筆すべき事項であり、指導の在り方、本市の児童の実態等から、本採択地区で使用する教科用図書として適当であると考えます。</p>
--	--	--